



HATAYUKA LABO 

ハタユカラボ2017年10月読みもの

—男性性と女性性の統合—

sample

どうも、ハタユカラボです。

今月のテーマは『男性性と女性性』

この二つは今、様々なところで聞かれるキーワードですが、もう一度基礎から理解しよう！ということで特集することにしました。

なんとなく分かっているようで、分かっていない…かも！？
なこのキーワードたち。

基本的なところからまとめましたので、音声と合わせてじっくりとよみものと共に、自己と対話してみてくださいね。

それではさっそく、内容に入っていきますよ！

■まず、全体のプロセスをおさらいしよう

私たちが生まれてから、男性性と女性性が統合（自分との結婚）が行われるまでの間には、いくつかのフェーズがあります。

このフェーズをたどるプロセスは、私達からすると苦しみの泥中にいるときほど、何が起きているか分かりませんが、理解してみることによって、不安や焦りが軽減されます。

男性性と女性性の統合は約束されていることだと思ってください。それが結果として起こる人は、そのタイミングで起こります。（もちろん、中にはそれが起こらない場合の人もいますが、多分この読みものを読んでいないと思います。笑）

では、改めてそのプロセスを見てみましょう。

- (1)女性性からの分離
- (2)男性性との自己同一視と仲間集め
- (3)試練の道
- (4)成功の幻想
- (5)精神の渴きを知る一死
- (6)通過儀礼と女神への下降
- (7)女性性を見直す
- (8)母/娘の分離を修復
- (9)傷ついた男性性の修復
- (10)男性性と女性性の統合

このような流れになっております。

参考文献は

『ヒロインの旅ー女性性から読み解く本当の自分と想像的な
生き方ー』

モーリーン・マードック＝著

興味ある方はこちらの本も読んでみてくださいね。

▼参考文献はこちら

<http://amzn.to/2y zgCb8>

さて、これらの各フェーズを、簡単に解説すると、このようになります。

(1)女性性からの分離

母からの分離。母を象徴するものからの分離。つまり、それは“自己（セルフ）”を象徴するものからの分離であり、この分離が起こることによって自分自身との関係が一旦、絶たれる。

(2)男性性との自己同一視と仲間集め

女性性と切り離され、母（または母を象徴するもの）と分離されたあと、未熟な女性性によって男性性が形成される。その男性性もまた未熟である。母親（と同等の存在）のフィルターを通して父親（と同等の存在）を解釈していこうとする。

男性性を形成しながら、外の世界との関わり方を学んでいく。このフェーズで、人格を形成する“自我”が芽生える。

未熟な男性性は女性性と分離しているため、そのうち自我こそが自分自身であるという錯覚を抱くようになる（自己同一視）

仲間を集め、旅に出る準備をする。

(3)試練の道

実際に、自分を旅に出させるフェーズ。外の世界に飛び出すことで鍛えようとする力も働く。未熟な女性性によって形成された男性性を強くする旅に出る。しかし、男性性は女性性とつながっていないために、暴走することもあり、攻撃的な一面も見せる。

自立のフェーズ。自我が周りの存在から独立しようとする働きを持つ。

(4)成功の幻想

未熟な男性性が試練の旅を経て、武器を持ち、仲間を集め、そして強くなったことによって、架空の理想像や、架空の成功イメージを手にする。

また、それに対して邁進し、男性性がより出現するようにな